

薬学部学生・保証人の皆様

愛知学院大学
薬学部長 村木克彦

令和4年度 春学期薬学部(楠元キャンパス)の授業実施について

1. 対面授業と遠隔授業

薬学部では、継続的な新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学年を2つのグループに分けて、隔週登校で対面授業と遠隔授業を併用します。学年のグループ分けと登校日は、学生の皆さん宛にWebCampusでお知らせします。

講義は、登校グループは講義室で受講し、自宅グループはTeamsを介してリアルタイムでその中継映像を自宅で視聴することにより受講します。復習のための教材や配信の不具合への対応として、講義を録画し、一定期間配信します。

実習・演習は、科目、学年ごとに進め方が異なります。説明に従い受講して下さい。

1年生の薬学部での対面授業と遠隔授業の受講方法については新入生研修会で詳しく説明します。なお、1年生の日進キャンパスでの授業につきましては、日進キャンパスから発信される情報を確認ください。

2. 対面授業時の登校

(1) 登校について

登校前には必ず検温し、薬学部健康観察表に体温と体調を毎日忘れずに記録してください。発熱・咳・咽頭痛・全身倦怠感等のいずれかの症状がある場合には登校せず、薬学部事務室に連絡して下さい。決して無理な登校はせず、登校しない場合には、自宅で遠隔授業を受講して下さい。実習・演習についても配慮しますので、安心して下さい。学内で体調が悪くなった場合も、無理をせず、速やかに薬学部事務室に連絡して下さい。

新型コロナウイルス感染症の陽性者及び濃厚接触者(疑いも含む)になった場合にも登校せず、薬学部事務室に連絡し、大学からの指示を待って下さい。また、同居するご家族や接触(会話)した友人の体調不良(風邪の諸症状)の場合も登校は控えてください。ワクチン接種に伴う副反応(発熱や全身倦怠感など)と思われる症状がある場合も登校は控えてください。

(2) 構内での過ごし方について

各自のスマホにCOCOAをインストールし、携帯して下さい(BluetoothのONも確認)。登校時及び構内では、不織布マスクを正しく着用するほか、手洗い、消毒、「3密」の回避を徹底して下さい。

薬学部棟および 4 号館への入館は、薬学部棟東入口（事務室側）からのみとします。入口に体温計測器を設置しますので、各自検温し入館して下さい。他の入口からは入館できません。また、講義室や学生食堂での昼食時は「黙食」の徹底に努めてください。講義室での昼食は必ず指定された席でとってください。楠元キャンパス内の食堂は席数を制限した形で営業をします（4 号館食堂でテイクアウトもできますが、数に限りがあります）。授業終了後は自習等の場合を除き、速やかに帰宅して下さい。

対面講義受講日に限り、講義時間外の自習室として薬学部講義室を利用できますので感染対策を遵守しながら利用下さい。20 時まで使用可能となります。

1 年生：202・205（木、金のみ）、2 年生：203、3 年生：204、4 年生：206、6 年生：201・各講座（5、6 年生）

3. 大学の感染対策

薬学部棟と各教室の出入口に消毒液を設置します。講義室および構内の共用部分は、消毒作業を毎日行います。

授業は、教室定員の 2 分の 1 以下で換気をしながら実施します。各講義室には CO₂ 濃度測定器を設置し、常時チェックをしています。講義は、教員との距離を保ち、学生間の間隔をあけた指定席で受講します。実習・演習等では、必要に応じてフェイスシールドを着用します。

カフェテリアは使用できません（コンビニは営業中止、コピー機は使用不可）。ロッカーについては荷物の出し入れのみ可とします。

歯学・薬学図書館情報センターは、利用規程に従い利用ください。座席数を制限していますが自習にも利用できます。

学部内での感染状況や社会情勢の変化に対応しながら学部の判断により全面的に遠隔授業に移行する場合があります。その場合には、WebCampus または Teams で連絡します。

クラブ活動再開については、現在検討中です。決まり次第お知らせします。

4. 陽性者や接触者への連絡対応

今後、学内で陽性者が出た場合には、その報告や接触者の特定が重要になります。陽性者や濃厚接触者（疑いも含む）になった場合は、必ず薬学部事務室まで連絡ください。

連絡先：薬学部事務室

Tel: 052-751-2561 (代) (平日 9 時～18 時)

Mail: yakugaku@dpc.agu.ac.jp